

頁	箇所	誤	正
106	上5行目	振動板が大きく面積 S が大きいと感度が高い。	振動板の質量が変わらずに面積 S が大きいと感度が高い。
106～ 107	式(5.17) 式(5.18) 式(5.22) 式(5.24)	$ K_E $ K_E	$ K_P $ K_P
107	下9行目	振動板が大きく面積 S が大きいと感度が高い。	振動板の面積 S が大きいと感度が高い。
121	図6.3 縦軸	$1/(1 - jka)$	$1/(1 + jka)$
122	下4行目	ka 値が無限大になった	ka 値が0になった
141	上2行目	波長が管の長さの	管の長さが波長の
	上6行目	一方、周波数が0に近い値で	一方、 kl が0に近い値で
142	下2行目	波長が管の長さの	管の長さが波長の
143	上2行目	一方、周波数が	一方、比音響インピーダンスが
144	上2行目	振動板から見た	駆動点から見た
	上8行目	波長が管の長さの	管の長さが波長の
146	上2行目	波長が管の長さの	管の長さが波長の
164	式(9.3) ～(9.4)	K	K_M
	式(9.5)	$\phi_0 = 2\sqrt{2}PK_M e^{j\omega t}$	$\phi_0 = \sqrt{2}PK_M e^{j\omega t}$
165	式(9.8)	K	K_M
167	上2行目	式(9.10)は	式(9.9)は
172	式(9.21)	K	K_M
212	上8行目	人口耳	人工耳
226	式(11.6)	$f_a e^{\gamma t}$	$f_0 e^{\gamma t}$
	式(11.7)	$= \gamma f_a e^{\gamma t}$	$= \gamma f_0 e^{\gamma t}$